

科目番号	科目名	配当年次	授業形態	単位	担当教員
D201	ゼミナール I / EXゼミ I	2年	演習	4	飯島二郎
授業概要 管理会計の学習をとおして、中小企業の戦略会計に役立つ基礎知識と技術を身につけます。 内容は基礎的な工業簿記から日商簿記1級程度の原価計算や公認会計士レベルの管理会計論まで学習します。 特に3年次で学習するCVP分析、直接原価計算、業務的意思決定についての基礎となる知識と技術を学習します。					
到達目標(学習の成果) 企業の経営効率を高めるために戦略会計の役割はますます重要になっています。本ゼミでは企業経営のもっとも必要とされる管理会計の知識や技術を修得します。 地元の中小企業に対して経営戦略に欠かせない経営情報を提案できる力を身につけます。 日商簿記検定2級や1級に合格することも目標です。(DP4)					
授業計画					
回	表題	学修内容			
1	原価と費目別計算 (1) 材料費	材料費の計算(購入価額の計算と消費価額の計算)			
2	原価と費目別計算 (2) 労務費	労務費の計算(支払額と消費額の計算)			
3	原価と費目別計算 (3) 経費	経費の支払と消費額 経費の測定と月割経費			
4	製造間接費 (1)	製造間接費の配賦			
5	製造間接費 (2)	製造間接費予算			
6	個別原価計算 (1)	単純個別原価計算と原価計算表の作成			
7	個別原価計算 (2)	個別原価計算における仕損と作業屑			
8	部門別個別原価計算 (1)	個別原価計算の部門費			
9	部門別個別原価計算 (2)	製造部門費と補助部門費			
10	部門別個別原価計算 (3)	部門費の予定配賦			
11	総合原価計算 (1)	月末仕掛品の評価 (1)平均法			
12	総合原価計算 (2)	月末仕掛品の評価 (2)先入先出法			
13	総合原価計算 (3)	総合原価計算における減損の処理			
14	総合原価計算 (4)	総合原価計算における仕損の処理			
15	総合原価計算 (5)	等級別総合原価計算			
16	総合原価計算 (6)	組別総合原価計算			
17	総合原価計算 (7)	工程別総合原価計算 (1)原価計算表の作成と勘定記入			

18	総合原価計算 (8)	工程別総合原価計算 (2)半製品の記帳と原価計算
19	総合原価計算 (9)	副産物と作業層の記帳
20	財務諸表の作成 (1)	製造原価報告書の作成
21	製造業現場視察	市内の中小製造業視察
22	製造業現場視察	市内の中小製造業視察
23	財務諸表の作成 (2)	損益計算書の作成
24	本社・工場会計	本社・工場間の取引と記帳
25	標準原価計算 (1)	標準原価計算のしくみと原価標準の設定
26	標準原価計算 (2)	原価差異の分析と計算
27	標準原価計算 (3)	標準原価計算の記帳法(パーシャル・プランとシングル・プラン)
28	標準原価計算 (4)	財務諸表の作成
29	直接原価計算 (1)	直接原価計算のしくみと固定費調整
30	直接原価計算 (2)	CVP 分析と固定費・変動費分析

準備学修(授業外の自己学修)

授業外の学習時間は、週 8 時間以上が必要です。日頃から公認会計士試験の管理会計論や日商簿記検定の問題を解くことで、管理会計、原価計算の知識・技術を高めて下さい。

授業計画で示された内容をあらかじめ学習し、基本的な問題を解いておくこと。

成績評価の方法・基準(%表記)

小テスト 60% ゼミへの出席状況 20% ゼミへの取組み態度 20%

観点	S	A	B	C
基本的な原価計算の仕組みに関する理解	完全に理解できている。	ほぼ完全に理解できている。	十分に理解できている。	一定程度理解できている。
中小企業の原価計算の課題に対する対応策	完全に理解できている。	ほぼ完全に理解できている。	十分に理解できている。	一定程度理解できている。
原価計算の仕組みとその作成技術を理解している	完全に理解できている。	ほぼ完全に理解できている。	十分に理解できている。	一定程度理解できている。

教科書

最新段階式 日商 簿記検定問題集 2級 工業簿記 実教出版 820 円

参考書等

特になし

履修上の注意・学修支援

資格取得に心がけ、日商簿記 2 級や建設業経理士試験 2 級の合格を目指して下さい。

図書室や商業資格指導室での学習時間を十分に確保することを心がけて下さい。